



### 高松大学サッカー部が躍進

高松大学サッカー部は、「2021年度インディペンデンスリーグ四国」で優勝し、11月30日、「2021年度第19回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル」に出場。1回戦で



中国地区代表の広島経済大学と対戦し、PK戦の末に勝利した。2回戦では拓殖大学と対戦し、0対5で敗退した。

「四国大学サッカーI部リーグ（兼全日本大学サッカー選手権大会代表決定戦）」で無敗優勝し、12月3日に高松市長を表彰訪問。市長から激励を受け、12月8日、「2021年度第10回全日本大学サッカー選手権大会」に出場し、九州地区第2代表の福岡大学と対戦した。立ち上がりから福岡大学の猛攻を許してしまい、チャンスは作るが得点につながらず、失点を重ね、0対4で敗退した。

さらに、四国大学サッカー

新人戦（兼全日本大学サッカー新人戦四国地区予選会）で優勝し、「2021年度第5回全日本大学サッカー新人戦」に出場。12月20日に九州産業大学、12月21日に甲南大学、12月22日に日本大学と対戦した。

近年、高松大学サッカー部は躍進を遂げ、目標であった全国大会での一勝を果たすことができた。今後も日々の練習を積み重ね、結果を残していきたい。



### 高松大学ハンドボール部

### 全国大会に連続出場

2021年度において、高松大学ハンドボール部は、2つの全国大会に出場した。

まず、11月6日から山梨県にて開催された第64回全日本学生ハンドボール選手権大会であるが、初戦の相手であった強豪早稲田大学に競り勝ち、11年ぶりの勝利を手にした。2回戦の相手であった明治大学には、残り10分まで互角の試合展開だったものの、最終的には力負けし、敗戦となった。最終成績は、ベスト16であったが、日頃の練習の成果を十分に発揮できた大会となった。

この大会の良いイメージを持って、12月1日から大阪府にて開催された第73回日本ハンドボール選手権大会に挑んだ。初戦の相手は、日本リー

グに所属するトヨタ自動車東日本であった。持ち味とする粘り強い攻守を発揮でき、残り8分で同点としたが、その後相手の勢いに押され、最終結果23対26で敗戦となった。日本リー



グのチームを相手に気持ちで負けることなく、自分たちのハンドボールを実践できたことは、大きな自信となった。

この経験を次年度にも生かし、今年度以上の成績を勝ちとることができるよう、日々練習に取り組んでいきたい。

### キラリ☆輝く人

全日本学生ハンドボール選手権大会、日本ハンドボール選手権大会に連続出場



発達科学部  
子ども発達学科  
4年  
大田 凱士さん

主将としてハンドボール部を率い、二度の全国大会に導いた。「今まで全国を経験したことはなかったが、仲間とともに全国大会に出場し、結果を残せたことが一番うれしいです。後輩たちには僕たち以上の成績を残して欲しいと思っています」と大田さん。ハンドボール部での活動など本学での経験を生かし、社会でも活躍してほしい。

ご承知の通り、世界的な規模で新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増し、我が国においても日々の生活や経済活動に深刻な影響を与え、未だかつて経験したことのない状況にあります。しかしながら、学位記授与式は学生の皆様にとつて学生生活から社会へ巣立つ記念すべき旅立ちの日であり、また、教職員にとつても学生の皆様の成長の喜びを分かち合う重要な式典であります。それゆえ、感染拡大の防止と予防を考慮し、規模を縮小して卒業生とその保護者の皆様、教職員で実施することとなりましたこと、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

さて、マスクをしての告辞ではありますが、こうした形であっても本学令和3年度学位記授与式を挙行できますことは、誠に慶びに耐えませぬ。本学教職員を代表して厚く祝意と感謝の意を表します。

ただ今、大学144名、短期大学121名、大学院1名、計266名の皆様が、めでたく学位記を授与されました。

**令和3年度学位記授与式学長告辞**



高松大学長  
高松短期大学長

佃 昌道

それは、この歴史と自然に恵まれた田園都市高松に立地する本学に集い、学部・学科により期間の長短はありますが、それぞれに学問や研究に励まれ、初志を貫徹された証であります。ここに、これまでの皆様の努力に対して敬意を表し、心からおめでとうとお祝いの詞を述べたいと思います。ことに、県外や国外から遊学された皆様には、格別のご苦労があったのではないかと推察します。

さて、皆様の卒業年度である本年度は、新型コロナウイルスの世界的流行の中、56年ぶりに東京2020オリンピックが無観客で開催され、県勢の宇山賢選手が日本フェンシング界初の金メダルを獲得し、お隣の愛媛県出身の真鍋淑郎理学博士が地球温暖化予測の理論的基礎を築いた功績でノーベル物理学賞受賞、また先月行われた北京2022オリンピックでは日本選手の獲得メダル総数が過去最多の18個という活躍も記憶に新しく、大変面白い話題もありました。

コロナ禍における新しい生活スタイルに合わせ、在宅勤務やオンラインを使ったイベントなど、Society 5.0の振興が進む中、新たな価値創造が起こり、時代は急速に変化しようとしています。それは我が国にとつても、戦後の激動期に相当するほどの時代かもしれませぬ。

そんな時代を生き抜く皆様に、讃岐坂出塩業の父と呼ばれ、郷土の殖産興業に貢献された、鎌田勝太郎氏を紹介したいと思います。

鎌田氏は文久4年（1864年）現在の坂出市の醤油醸造を営む家に生まれ、『学問のすすめ』との出会いから福沢諭吉を師と仰ぎ、14歳で上京、近代国家建設に必要な基礎知識と明治の先駆者として必要な精神を修めました。帰郷したのちに「快航丸」という船を購入し、「坂出―函館」間の海運業を皮切りに、塩業の振興、金融、交通、貿易などの分野に参画し、手腕を発揮されました。特に塩業においては、度重なる台風や塩の価格の下落などで荒廃した坂出の塩業再興を行ったことが挙げられます。また、醤油醸造によって得た利益を社会に還元することを考え、鎌田育英会を起こして慈善育英事業に従事し、育英や社会事業に尽くされました。

鎌田氏は23歳で私学済々学館を創立され、大正7年（1918年）には財団法人鎌田共済会を設置、育英事業をはじめ図書館、社会教育会館、郷土資料館、成人学会を発足させ、郷土の文化発展に大きく貢献されました。「田地を開墾する前に、人の心を開発すること」に腐心し、「人づくり」を進めた鎌田氏は、坂出では「久米の塩田、鎌田の文化」と言われています。

今日の記念すべき日に改めて郷土の先輩である鎌田勝太郎氏の足跡に触れたのは、皆様に、失敗を恐れずチャレンジ精神と自由な発想を大切に、社会で活躍していただきたいと考えたからです。

さて、卒業後、公務員・銀行・一般企業などに進まれる経営学部・秘書科の皆様、また、小学校・幼稚園・保育所・子ども関連施設・企業などに進まれる発達科学部・保育学科の皆様、それぞれ進む道は異なり、直面する課題も多様であると存じます。

しかし、皆様が本学で学んだ、対話を重んじ、理論と実践の接点を開拓するという精神を忘れず、進取の気概を持って、自らが属している職場や地域社会の中で人との絆を大切に、日々起こる小さなことを疎かにすることなく、自分の役割を果たし、愛され、信頼される存在となりますよう期待して、餞の告辞といたします。

**学長表彰**

本学では、学術・文化・スポーツなどで顕著な成果を挙げた学生を対象に「学長表彰」の授与を行っています。令和4年2月末現在の表彰は以下のとおりです。

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第73回日本ハンドボール選手権大会四国ブロック予選 優勝	令和3年11月25日
サッカー部	[スポーツ部門] 四国大学サッカーI部リーグ 優勝	令和3年11月25日
サッカー部	[スポーツ部門] インディペンデンスリーグ四国 優勝	令和3年11月25日
サッカー部	[スポーツ部門] 四国大学サッカー新人戦 兼 全日本大学サッカー新人戦 四国地区予選会 優勝	令和3年12月17日



# 高松大学

## 発達科学部

### ◆大学生活を振り返って

発達科学部子ども発達学科4年

落合 駿希



大学生活を振り返ってみると、多くの

人との出会いが私を大きく成長させてくれた、充実した4年間でした。

大学2年次から小学校教員を志すようになり、子どもと関わるボランティア活動や、げんき村に積極的に参加する中で、教職により憧れを持つようになりました。

大学3年次の3月は、教員採用試験合格をめざし、目標を共にする仲間と互いにわからないところを教え合いながら勉強に励みました。何度もうまくいかなかったり、心理的な面でも仲間の存在はとても大きなものでした。

私が教員採用試験に合格できたのは、共に頑張ってきた仲間や教員採用試験対策講座で私たちにご指導くださった先生方のおかげだと思います。この感謝の気持ちを忘れずに新しい環境でも自分らしくありたいと思います。

## 経営学部

### ◆これから就職活動を始めるみなさんへ

経営学部経営学科4年

倉本 奏



私が就職活動で意識したことは2つあります。

1つ目は、就職活動を早く始めることです。私自身は就職活動を3年の12月から始めたため、遅れをとることはなかったのですが、早めに行動したことで自分にマッチした就職先を見つけ、内定を決めるために必要な力を身につける準備ができました。また、インターンシップにも参加することができ、企業について詳しく知ることができました。2つ目は、自己分析の徹底です。自分がどのような人間で、どのようにして企業に貢献することができるのかを分析することで、企業に良い印象を与えることができます。これらのことを行うことで、就職活動をスムーズに行い内定を勝ち取ることができました。

わからないことや大変なこと、の多い就職活動ですが、キャリア支援課や先輩方などの

力を借りながら乗り越えて、悔いのない就職活動にしてください。

## 高松短期大学

## 保育学科

### ◆短大生活を振り返って

保育学科2年 白井 祐香



保育学科での2年間は、入学式から特別な形でスタートしました。コロナ禍の在宅学習を経て、6月から対面授業が始まり、今日まで保育者になりたいという同じ志をもつ仲間と彩り豊かな時間を積み重ねていきました。

保育現場を想定した模擬保育では、4〜5歳児を対象とした歌唱指導を行い、子どもへの気持ちに寄り添った声かけや楽しい雰囲気づくりを心がけました。保育の振り返りで



は、良かった点や改善点を話し合うこと

で、自分の保育方法を見直し、学びが、さらに深まりました。また、公務員対策講座では、問題集を繰り返し解き、何度も面接練習をしました。挫折しそうな時、仲間や先生がそっと支えてくれました。おかげで、見事合格することができました。コロナ禍で制限せざるを得ない行事や授業がありました。仲間とともに協力し合い切磋琢磨した経験は、私の宝物です。だからこそ、卒業後は、感謝の気持ちを忘れず、社会人としての自覚をもち、保育者として一杯頑張ります。

最後になりましたが、親身にご指導くださった先生方、かけがえのない学生生活をともに過ごした仲間たち、常に見守り支えてくれた家族、そして実習等でお世話になったすべての方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

## 秘書科

### ◆クリスマス・スワッグづくり

秘書科1年 佐藤 綾香



クリスマスは、古くから魔除けとして常緑樹を束ねてドアに飾るもので



あると知り、歴史があることを学びました。クリスマス・スワッグを初めて作りましたが、とても楽しかったです。作る前は、出来上がりや作業の難しさをイメージして不安に感じていましたが、実際に作ってみると、思っていた程の難しさはありませんでした。しかし、数種類の花材をどう組み合わせると綺麗に見えるのかを考えたり、枝の長さを調節するときに硬くてなかなか切れなかったりしたところが大変でした。

出来上がった作品を玄関のドアに吊るしたところ、とてもオシャレで、いつものクリスマスと違った雰囲気を味わうことができました。



寄稿がみなさんのためよ。メッセージや体験記など、学生のみなさんへ大切にさせていただきます。

**クラブ・サークル活動紹介**

**ダンスサークル**

発達科学部子ども発達学科3年

大石 明規

**クラブ・サークルの活動内容**

私たちは自由に楽しむことを目標に日々活動を行っています。大学祭や地域のお祭りなど大学内外を問わず、様々なイベントに参加し、ダンスへの情熱を発信しています。メンバーは男子が7人、女子が11人の計18人で、毎週火曜日と金曜日に16時10分から集まって楽しく活動しています。

**クラブ・サークルの特徴**

一番の特徴はサークル内で先輩後輩の垣根を越えて楽しく活動していることです。基本的に個々にやりたいダンスを持ち寄って練習し、それを



他のメンバーに教えていくという形で練習しています。

サークルだけの関係にとどまらず、メンバーが集まるとご飯を食べたり、遊びに行ったりと日々交流を深めあっています。

**探訪/研究室**

経営学部 日笠 倫周

**自己紹介**



初めまして。日笠倫周です。専門はマーケティングです。体を動かしたり、お酒を飲んだりすることが好きです。

**ゼミナールの特徴**

自主性を重んじます。基本的には学生がやりたいことをやります。マーケティングっぽいことに挑戦することもあります。全てはゼミ生次第。

**ゼミ生へ一言**

遊びだけでも、勉強だけでなく、色々な事に挑戦して欲しいなと思います。

**二十歳の時の自分**

中型二輪で日本を巡っていた気がします。

**うんとこどっこい！大根ぬけたよ！！**

菜園で育てた大根を収穫しました。友達と一緒に葉を持って、「せーの、よいしょ！」と力いっぱい大根を抜く様子は、まるで『おおきなかぶ』のお話のようでしたよ。太くて立派な大根や、先が足の様に分かれた面白い形の大根など、子どもたちは見たり触ったりしながらとれたて新鮮な野菜の感触を楽しんでいました。それから、じっくりと観察しながら絵に描きました。「細いひげみたいな根っこがあるよ」「葉っぱの形がふにゃふにゃしているね」と、思い思いのおいしそうなお絵が完成しました。そして、いよいよお待ちかねの実食タイム！メニューは素材の味を大事にしたふろふき大根と、洋風大根スープです。寒い冬に、ほかほかほくほくの大根は最高でしたよ。野菜が苦手な子ども、「この大根はおいしいね！」ともりもり食べて、お鍋はあっという間に空っぽになりました。菜園で季節のいろいろな野菜を育ててくださっているバスのおじさんにも「おいしかったよ！！」と嬉しそうに報告していた子どもたち。これからも土や水、植物など、自然を五感で味わう体験を通して、豊かな心を育てていきたいと思っています。



**学位記授与式**

令和3年度の大学・大学院・短期大学の学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小し、3月23日、レクザムホール（香川県県民ホール）で行われ、大学・大学院・短期大学266名が学び舎を巣立つ。

今年度も就職状況は好調で、香川県等の公立小学校・特別支援学校に大学発達科学部から現役・既卒を併せて13名が合格した。また、公立幼稚園・保育所にも大学発達科学部、短期大学保育学科から多数合格しており、大学経営学部、短期大学秘書科からの企業等への就職も併せ、4月から新たなスタートを切る。

**編集後記**

☆新聞等で卒業生の活躍について書かれた記事を目にすることがあります。本号でも、学生の活躍や成長を感じる記事が多くなりました。コロナ禍の中、学園だより作成にご協力いただいた学生みなさんに感謝するとともに、卒業する方の今後ますますのご活躍を応援しています。(N)